

令和5年 第11回京丹後市教育委員会会議録

- 1 開催年月日 令和5年8月1日(火)
開会 午前9時00分 閉会 午前9時50分
- 2 場 所 峰山庁舎 2階 205会議室
- 3 出席委員名 松本明彦 野木三司 関 美幸 田村浩章 安達京子
- 4 説明者 教育次長 引野雅文 教育理事 田辺健二 総括指導主事 久保有紀
教育総務課長 西村 隆 学校教育課長 川村義輝
子ども未来課長 蒲田幸宏 生涯学習課長 安達 純
スポーツ推進室長 下戸裕子 文化財保存活用課長 村田雅之
- 5 書 記 教育総務課主任 松下晃太郎
- 6 議 事
 - (1) 議案第61号 ここで見つける君のフィールド!～探そう!できそう・楽しそう!ファミリーキャンプ～の開催に係る後援について
 - (2) 議案第62号 京都府中学校教育研究会 国語科研究大会の開催に係る後援について
 - (3) 報告第21号 公益財団法人京丹後市公園緑化事業団の経営状況について
 - (4) 報告第22号 公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について
 - 【追加議案 報告第23号、議案第63号】
 - (5) 報告第23号 京丹後市と京都サンガF.C.のホームタウン加入にかかる京丹後市と株式会社京都パープルサンガとの協定締結について
 - (6) 議案第63号 アーティストがあたりまえにいるまちの開催に係る後援について
- 7 そ の 他
 - (1) 諸報告
 - ① 「共催」・「後援」に係る7月期承認について
 - (2) 各課報告
 - ① 8月学校行事予定について
 - ② 8月保育所・こども園行事予定について
 - ③ 8月生涯学習課行事予定について
 - ④ 8月文化財保存活用課行事予定について
- 8 会 議 録 別添のとおり(全13頁)

9 会議録署名

別添の会議録は書記が記載したものであり、別添記載の正確であることを認めここに署名する。

令和5年8月22日

教 育 長 松本 明彦

署 名 委 員 安達 京子

- 〔招 集 者〕 京丹後市教育委員会教育長 松本明彦
- 〔被招集者〕 野木三司 関 美幸 田村浩章 安達京子
- 〔説 明 者〕 教育次長 引野雅文 教育理事 田辺健二 総括指導主事 久保有紀
- 教育総務課長 西村 隆 学校教育課長 川村義輝
- 子ども未来課長 蒲田幸宏 生涯学習課長 安達 純
- スポーツ推進室長 下戸裕子 文化財保存活用課長 村田雅之
- 〔書 記〕 教育総務課主任 松下晃太郎

〈松本教育長〉

ただいまから「令和5年 第11回京丹後市教育委員会定例会」を開会いたします。
皆さん、おはようございます。

今年の梅雨は長期間となりましたが、梅雨明け後は、一転して連日猛暑日となるなど、本
当に厳しい暑さが続いています。こうした暑さによって、熱中症警戒アラートが発表され
たり、また水温が上昇しすぎたりしたことなどにより、PTA主催の自由プールを中止にする
学校も出るなど、子どもたちの夏休みの生活においても影響が出ているところです。また、
そうした暑さの中、教育委員の皆様には丹後教科用図書採択地区協議会では、長時間の会議
を何度もお世話になっており、感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症については、1学期終業式の欠席状況を見てみますと、
全く感染による欠席がないわけではありませんが、小中合わせても一桁にとどまっていまし
た。昨年と比較しますと、昨年の1学期終業式の欠席者数は、感染者だけでなく、濃厚接触
者も欠席となっていましたので、200人を超す状態だったことを考えると、本当に落ち着
いてきたことを実感することができました。

また同じ日に、この夏を中心に全国大会、世界大会に様々なスポーツで出場する児童・生
徒の皆さんを激励する会を実施しました。対象者は47名と大変多く、既に準備等のため激
励会を欠席する生徒もいましたが、大部分の皆さんが激励会に出席してくれて、一人一人決
意表明を堂々としてくれました。スポーツの面でも指導者や学校、指導いただく団体の支援
もあって、日頃の練習の成果をしっかりと結果につなげてくれている子どもたちが増えてき
ていること、大変うれしく思いました。

本日は、「ファミリーキャンプの開催に係る後援について」をはじめ3議案と報告3件を予
定しています。どうぞよろしく願いいたします。

〈松本教育長〉

それでは、令和5年第10回教育委員会（7月定例会）開催後の諸会議、行事等を中心に、教育長報告をさせていただきます。

【教育長動静報告】

〈松本教育長〉

以上です。御質問等ありましたらお願いいたします。

〈全委員〉

なし。

〈松本教育長〉

本日の会議録署名委員の指名をいたします。
安達委員を指名しますのでお願いします。

それでは、お手元の会議次第に沿って議事を進めさせていただきます。

〈松本教育長〉

議案第61号「ここで見つける君のフィールド！～探そう！できそう・楽しそう！ファミリーキャンプ～の開催に係る後援について」を議題とします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

〈引野教育次長〉

議案第61号「ここで見つける君のフィールド！～探そう！できそう・楽しそう！ファミリーキャンプ～の開催に係る後援について」を説明させていただきます。

この事業は、家族・地域ぐるみで、子どものキャリア教育に取り組む。自然体験・地域活動・ファーム体験により命を守る力を育む。動物介在教育・地域活動でコミュニケーション能力を育む。過疎高齢化地域の将来の担い手づくりを目的として、こことも t a n g o の主催によりファミリーキャンプが実施されるというものです。

内容は、2日間のキャンプの中で、自然体験・ファーム体験・地域活動などを行うものとなっています。

開催日時は令和5年9月16日土曜日午後2時から、9月17日日曜日の午後2時まで。
実施場所は京丹後市森林公園スイス村、対象は京都府内の4歳から18歳のお子さんを含む家族・親子グループで、参加予定は20人、1グループ当たりの参加費用につきましては3ページ目の入場料の欄に記載されているとおりです。

広く市民福祉の向上、または市政の推進に寄与する事業として後援するものです。
以上御審議のほどよろしくお願いいたします。

〈松本教育長〉

議案第61号を説明させていただきました。
御質問、御意見等がございましたらお願いします。

〈全委員〉

なし。

〈松本教育長〉

それではお諮りをいたします。
議案第61号「ここで見つける君のフィールド！～探そう！できそう・楽しそう！ファミリーキャンプ～の開催に係る後援について」につきまして、承認に御異議ございませんか。

〈全委員〉

異議なし。

〈松本教育長〉

異議なしと認め、承認いたします。

〈松本教育長〉

次に、議案第62号「京都府中学校教育研究会 国語科研究大会の開催に係る後援について」を議題とします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

〈引野教育次長〉

議案第62号「京都府中学校教育研究会 国語科研究大会の開催に係る後援について」を説明させていただきます。

この事業は、京都府中学校教育研究会、京丹後市立網野中学校、丹後中学校が主催するもので、3年間のスパンにおける研究部並びに地域中学校教育研究会の研究成果を府内全域に発信する。研究大会を通して、地域中学校教育研究会の実践的な研究活動の活性化に役立てる。研究交流や研究協議により、各中学校の教育実践を高める。そして、授業の工夫改善など実践的な研究を通して、指導力の向上につなげるといったことを目的として実施されるものです。

内容は、国語科の公開授業のほか講演、分科会などとなっています。

開催日時は、令和5年11月17日金曜日11時から16時25分。

開催場所は、京丹後市立網野中学校及び京丹後市立丹後中学校。

対象は、府内の中学校の国語科教員です。

本事業が国または地方公共団体が主催し、共催または支援する事業に当たるものとして後援するものです。

以上御審議のほどよろしくお願いいたします。

<松本教育長>

議案第62号を説明させていただきました。

御質問、御意見等がございましたらお願いします。

<全委員>

なし。

<松本教育長>

それではお諮りをいたします。

議案第62号「京都府中学校教育研究会 国語科研究大会の開催に係る後援について」につきまして、承認に御異議ございませんか。

<全委員>

異議なし。

<松本教育長>

異議なしと認め、承認いたします。

〈松本教育長〉

次に、報告第21号「公益財団法人京丹後市公園緑化事業団の経営状況について」を議題といたします。

事務局から説明をお願いします。

〈引野教育次長〉

報告第21号「公益財団法人京丹後市公園緑化事業団の経営状況について」を説明させていただきます。

地方自治法第243条の3第2項の規定により、市が出資金等の2分の1以上を出資している法人については、毎事業年度経営状況を説明する書類を作成し、議会に提出しなければならないこととなっており、公益財団法人京丹後市公園緑化事業団の経営状況について、9月の市議会定例会で提出する予定としているため、事前に教育委員会で報告をさせていただくものです。

まず、令和4年度の事業報告について説明させていただきます。

5ページをご覧ください。

令和4年度につきましては、コロナ禍の中であったものの、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令がなかったことから、事業団が指定管理する峰山途中ヶ丘公園及び峰山総合公園いずれも、利用者数、使用料収納とともに増加いたしました。

峰山途中ヶ丘公園の京丹後はごろも陸上競技場では、市民陸上記録会や北丹陸上競技協会主催の記録会をはじめ、丹後地域の小体連や中体連、高体連等の競技大会、市民のグラウンドゴルフ大会や駅伝大会などの利用があり、市民のスポーツレクリエーションの推進につながっています。

次に令和4年度の収支決算についてです。

13ページの収支計算書をご覧ください。

収入につきましては、利用料収入は前年度比206パーセントの189万6,150円となりました。そのほか、独自事業収益や指定管理受託料等合わせ、収益合計は前年度比105.3パーセントの4,687万1,677円となっています。

次に15ページをご覧ください。

支出について、主に二つの公園の管理費などですが、この決算額が4,671万9,894円となっています。収支の差額は15万1,783円の黒字となっています。

令和5年度におきましても、両公園の緑化推進事業を中心とした維持管理を適正に行い、各施設の効率的かつ円滑な運営に努めていただくとともに、京丹後市スポーツ推進計画に基づき、スポーツを通じた市の活性化のための基幹施設として自主事業の展開や、管理運営に努めていただきたいと思います。

以上です。

<松本教育長>

報告第21号を説明させていただきました。
御質問、御意見等がございましたらお願いいたします。

<全委員>

なし。

<松本教育長>

次に、報告第22号「公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について」を議題といたします。

事務局から説明をお願いします。

<引野教育次長>

報告第22号「公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について」を説明させていただきます。

先ほどの21号と同様に、地方自治法第243条の3第2項の規定により、市が出資金等の2分の1以上出資している法人については、毎事業年度経営状況を説明する書類を作成し、議会に提出しなければならないこととなっており、当事業団の経営状況についても、9月の市議会定例会で提出する予定としているため、事前に教育委員会で報告をさせていただくものです。

まず3ページをご覧ください。

令和4年度の実施事業についてです。令和4年度は計画した全ての事業を実施することができました。

自主事業・共催事業として、「丹後映画大好き劇場」や「なつかしの映画上映会」の映画上映、そしてコンサートでは「MUSIC LIFE TANGO」や「和太鼓松村組京丹後公演2022」「ぐっさんのハッピーオンステージ」などが実施されました。

次に15ページ、16ページをご覧くださいと思います。

令和4年度の決算の状況ですが、事業収益や補助金など、経常収益が合計で約3,988万円となっています。前年度の収入金額を下回っていますが、前年度につきましては京都府の新型コロナウイルス感染症対策の補助金の収入があったため、事業収益自体は増収している状況です。

一方で、事業費や管理費などの経常費用につきましては、合計で約4,193万円。収支の差し引きが約205万円の赤字決算ということになっています。新型コロナウイルス感染症による利用制限がない中で事業は計画どおりに実施できたものの、有料事業の入場者数が伸びなかったことが主な要因となっています。

今後につきましては、安定した黒字経営となるように魅力的な公演等の自主事業を展開し、入場料収入のアップを図るとともに、催事利用による貸館収入など、事業収益金の確保や、維持管理経費の削減に努めることが重要と考えています。

丹後文化事業団が本市の文化のまちづくりの中心的な団体としての役割を担い、文化芸術活動が一層推進されるよう、引き続き必要な支援に努めたいと考えているところです。

以上です。

<松本教育長>

報告第22号を説明させていただきました。

御質問、御意見等がございましたらお願いいたします。

<野木委員>

随分復活してきたなという感じがこの様子を見て分かるのですが、先ほど205万円の赤字だということで、入場料が少なくなっていると。魅力的なものを提案していくということでしたが、会議の中でこんなことをやっていこうとか、そういった具体的な案は出ているのでしょうか。

<安達生涯学習課長>

前年度は集客がなかなか伸びなかったということがあるようです。市が行うほかのイベントなどでも、やはり参加率はまだ戻っていないという感じがしています。徐々に参加者の数も増えてくるのではないかという見込みも立てていますが、文化事業団さんとしても、こういった催しですとかコンサートみたいなところで魅力のあるものをということで、企画会議等で検討し、計画をされているという状況です。

<松本教育長>

文化会館が埋まるほどの状況にならないと、収支的には厳しいということも聞かせていただいているので、戻ってきて6、7割入ったからといってプラスにはなかなかなりにくいというようなことも、御説明の中では聞かせていただいていたと思います。

<野木委員>

民間企業なら、赤字が出ると非常に問題で、何か黒字になるような企画をしろということが当たり前ですが、文化事業団という団体ですので、赤字を出さないために何か人が集まる事業をやればよいとか、そういうものではないと思うのです。

赤字なら赤字の理由があって、入場はなかなか見込めないけど市民のためにこんな提案をする、例えば吹奏楽は非常に多く入場されているのでそういうところで、触れてみる人をもっと増やすとか、そこで少々の赤字は仕方がないとか、そういうことならこちらも納得できますので、ただ単に赤字だから何か企画しなさいと思っているわけではなく、市民にもっと提案できるものを、赤字覚悟でも提案してほしい、そういう議論をしてほしいなという思いで発言させてもらいました。

<引野教育次長>

ありがとうございます。今の御意見に少し関連してですが、この資料の4ページを見ていただきますと、自主事業ごとの収支が一覧で見いただけます。どの事業が黒字で、どの事業が大きな赤字が出たかというのがありまして、会議の中でも、100万円台の赤字が出た事業が二つありますのでこのあたりは委員がおっしゃいますように、文化会館という施設の性質上、本物の芸術文化を市民の方に提供するという大きな役割がありますので、赤字になるから事業をやめるとかそういうことではなくて、どんどんそういった機会を提供することは大事なので、やはりこの赤字の原因を分析して、見通しが少し甘かったというようなこともお聞きしましたが、このあたりは赤字を減らす努力は必要だと言われています。

市も2,700万円の補助金をこの事業団に毎年出していますので、赤字が少なくなる中で市民の方にいろいろなそういった場を提供していただくという、そういう方向性が大事ではないかと思っています。

<松本教育長>

ほかに御意見、御質問ございませんか。

<田村委員>

私も野木委員と同じような意見になりますが、5ページとか6ページを見ると、生の演奏や本物のものというのは収容率が高いので、市民の興味は高いのではないのでしょうか。映画の上映会に比べて大きな赤字を出した事業というのは収容率も高くというところがありますので、子どもたちにとって、市民にとって、興味を持てるような、丹後にいても文化会館でこういうものが見られるのだというような企画を、近年演劇がないのも寂しいところで、やはり本物の、落語であったりとか、演劇であったりとか、そういうものを1年間通して企画して、ぜひ積極的に活動していただけたらと思います。

あと、チケット代が高いものについての招待券が少し多いのも気になる場所なので、そのあたりも少し検討していただければと思います。

以上です。

<松本教育長>

ありがとうございます。そのほかございませんか。

ないようですので、次に、本日追加報告1件、議案1件を準備しています。

初めに、報告第23号「京丹後市と京都サンガF. C. のホームタウン加入にかかる京丹後市と株式会社京都パープルサンガとの協定締結について」を議題とします。

事務局から説明をお願いします。

<引野教育次長>

報告第23号「京丹後市と京都サンガF. C. のホームタウン加入にかかる京丹後市と株式会社京都パープルサンガとの協定締結について」を説明させていただきます。

本件は令和5年5月25日に京丹後市が日本プロサッカーリーグJリーグに所属する京都サンガF. C. のホームタウンとして承認されたことに伴い、7月16日に協定書調印式を行い、株式会社京都パープルサンガと協定書を取り交わしたことについて報告をするものです。

京都サンガF. C. は、亀岡市にあるサンガスタジアム by KYOCERAを本拠地に活動しており、スポーツを通じた地域活性化にも積極的に取り組んでおられます。

ホームタウン加入の経緯といたしましては、京都サンガF. C. が京都府全域ホームタウン化を進めていることや、本市が京都サンガF. C. のホームタウンに加入することにより、京都サンガF. C. による地域の子どもたちや成人を対象としたサッカー教室の開催のほか、ホームゲームでの本市のPR、各種社会啓発活動などを連携して取り組むことが可能になるということから、本市のスポーツのまちづくりの推進に資するとして、ホームタウン加入に至ったものです。

協定の内容につきましては、ご覧のとおりですが、スポーツの普及と健康維持増進への貢献、青少年の健全な育成への貢献、地域活性化への貢献に資する取組みを、協力して推進することとしています。

以上です。

<松本教育長>

報告第23号を説明させていただきました。

御質問、御意見等がございましたらお願いします。

<全委員>

なし。

<松本教育長>

次に、議案第63号「アーティストがあたりまえにいるまちの開催に係る後援について」を議題といたします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

<引野教育次長>

議案第63号「アーティストがあたりまえにいるまちの開催に係る後援について」を説明させていただきます。

本事業はアーティストがあたりまえに存在し、芸術や表現、多様性に溢れたまちづくりと、アートプロジェクトを担うことのできる若手や、アーティストの制作をサポートできる人材の育成を目的に、寺島千絵氏が実施されるものです。

事業では、全国各地でまちづくりに関わり活動し評価を得ているアーティスト等6組をゲストに迎え、その取組み事例を立ち上げから実施過程現在の状況について、講義形式で学ぶとともに、意見交換やディスカッションが予定されています。

実施期間は令和5年10月14日から翌年3月9日の間の全6回が予定されており、会場は京丹後市のまちまち案内所。

定員は20名で、参加費は無料です。

申請者は寺島千絵氏です。

また、この事業は京丹後市の令和5年度韓哲・まちづくり夢基金事業補助金の採択を受けて、一般社団法人丹後暮らし探求舎とまちの人事企画室が協力する予定となっています。

本事業が、国等が支援し広く市民福祉の向上に寄与することから後援承認するものです。

以上、御審議のほどよろしくお願いたします。

<松本教育長>

議案第63号を説明させていただきました。

御質問、御意見等がございましたらお願いたします。

<野木委員>

とても楽しい企画をしていただいて、韓哲・まちづくり夢基金のほうで承認された事業ですので、この事業に対しての意見ということではないのですが、アーティストが丹後に来ているいろいろな自分の作品を提案するというのは、前回の会議の中でも、国の企画として何かあったように思います。それから、今までも京丹後市としての企画もいろいろなアーティストを紹介して丹後各地でされたと思います。

そういったことは本当に楽しみですが、結局、いろいろ事業をやる上で起承転結とよく言いますが、起承まではどの企画も我々に与えていただくのですが、起承転結の転とか結とい

ったところが、どこまでこの地域に根づいているのかなということが、最近結構気になるようになりました。じゃあそれは住民それぞれがそれを発表して、行動を起こせばよいのではないかと思うのですが、これだけの大きな予算を使い、すばらしいアーティストがこの地域に来ている中で、この企画をする側も、もう一步次の展開を提案できるような企画がそろそろしていただけないのかな、これは他人任せみたいな思いになるのですが、そういう結論まで出すのだという団体も丹後にはあるのはあります。そういった団体とも協力できればする中で、ぜひとも結論的などころもそろそろ見たいなという思いがあります。

この企画を擲揄するものでもないですし、楽しみにしているのでこれはあくまでも感想です。答弁は別に求めません。

以上です。

<松本教育長>

ありがとうございます。答弁を求めないということですが、何かありますか。

<安達生涯学習課長>

今回のこの事業は、寺島さんが企画をされた事業になります。本人もキュレーターとして活動されていた方なので、顔も広いということもあって全国各地からアーティストさんを呼んで来られると。

今回は、作品を展示するとか創作するというのではなく、まちづくりにアート、芸術を活かしておられて、一定の成果を出されている方を呼んできて、地域の方にそういった話をしてもらうというのがメインになっていて、今年度はこういった形で6回行われるのですが、この先のことも聞かせてもらいました。

これは聞くだけではなくて、それを地域の方に、こういうまちづくりの仕方や活性化の仕方があるのだということを学んでもらって、自主的にそういった動きが出てくるようなこともフォローしていきたいとおっしゃっていますので、単年ではなく、引き続き取組みを進めていくという、将来に向けたことも考えておられるとお聞きしています。

市としても、どんな動きをされているか、きちんと追いかけていくといいますか、把握させてもらって、市が行う事業とか、ほかの団体さんが行う事業なんかとの連携ができるような、そういうつなぎ役もできたらいいなと思っています。

主催者の寺島さんについてですが、ふるさと創生職員という京丹後市の雇用の制度があって、この3月から生涯学習課で文化芸術のコーディネーターとして雇用をさせていただいている職員です。非常にいろいろなアイデアを持っておられまして、市主催で今度秋から京丹後アートフェスティバルというような形で、それこそワークショップなどもしていくのですが、そういった企画なども積極的にしてしまして、そういう人材になります。市役所では3年間職員として勤務し、そのあとはこちらに根づいて、仕事をしていきたいというふうにおっしゃっていますので、そういった流れの中で、いろいろと取り組んでいきたいということ

で聞いています。

以上です。

<野木委員>

ありがとうございます。安心しました。寺島さんの位置付けも分かりました。

もう重々お分かりだと思いますが、京丹後にはそれぞれ個人でも団体でもいろいろ地域のことをされています。そこにアーティストも加わってやっておられます。寺島さんにおいては、ぜひその横の連携を取り合ってやってほしいですし、ただ、やはり推進役が必要で、横の連携だけでは絶対にベクトルが上に上がっていかないというようなことで、そういった推進役になっていただけることも期待しています。よろしくお願いします。

<松本教育長>

ほかに御意見、御質問ございませんか。

<田村委員>

定員20名無料となっておりますが、対象者については、ある程度絞り込まれるのか、当日ぱっと来られた方で1回ごと違うのか、それとも全ての回同じ参加者とするのか、そのあたりのところをもう少し詳しく教えてください。

<安達生涯学習課長>

事前に募集をされると聞いています。なるべく多くの方に参加いただきたいと思っておられるようですが、20名ぐらいが限度かなということで、基本的には引き続いて来ていただくということも考えておられます。そのあたりは柔軟にというふうに聞いています。全ての方が全部の日程に参加できるわけではないかなとも思いますので、そこはこの20名というところをなるべく埋まるようにといいますか、多くの方に参加してもらえるように考えておられると聞いています。

<松本教育長>

それではお諮りをいたします。

議案第63号「アーティストがあたりまえにいるまちの開催に係る後援について」につきまして、承認に御異議ございませんか。

<全委員>

異議なし。

<松本教育長>

異議なしと認め、承認いたします。

<松本教育長>

以上で本日の議事は全て終了させていただきました。

続いて、4のその他ということで諸報告、各課報告を順次いたします。

(1) 諸報告

<引野教育次長>

① 「共催」・「後援」に係る7月期承認について

(2) 各課報告

<学校教育課・子ども未来課・生涯学習課・文化財保存活用課>

① 8月学校行事予定について

② 8月保育所・こども園行事予定について

③ 8月生涯学習課行事予定について

④ 8月文化財保存活用課行事予定について

<松本教育長>

全体を通して何か御質問等がありますか。

<松本教育長>

ないようでしたら、以上で第11回京丹後市教育委員会定例会を閉会いたします。御苦勞様でした。

<閉会 午前9時50分>

[8月臨時会 令和5年8月22日(火) 午後5時00分から]